

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 気仙沼市立月立小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒988-0864
宮城県気仙沼市塚沢65

E-mail tukidate-sho8@mist.ocn.ne.jp

Website _____

児童生徒数 男子 15 名 女子 15 名 合計 30 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

テーマ

ふるさと八瀬を愛し、生き生きと学ぶ子どもの育成
—地域素材の活用を通して—

1 本校のESDでめざすもの

(1) ESDのねらい

ふるさとのよさを知ることにより、ふるさとの環境を大切に守り、人とのつながりやかかわりを尊重できる子どもを育成する。

(2) ESDで育てたい資質・能力

- ・ 体験からふるさとのよさをどのように守っていったらよいのかなど、物事を主体的に考える態度を育てる。
- ・ ふるさとの自然や伝統に親しむ態度を育てる。
- ・ 未来を見つめ生きる力、応用力、コミュニケーション能力を育てる。

(3) 本校ESDの特長

本校では、「地域遺産教育」を推進するために以下のような3つの柱を中心としたESDの取組を行った。

自然	農園活動／炭作り／そば打ち／豆腐作り／鮎の稚魚放流／蚕の飼育・観察
伝統と文化	早稲谷鹿踊／塚沢神楽
人とのかかわり	敬老帳作成／月立子どもフェスティバル／縦割り活動／オアシスサ運動

2 今年度のESDの概要

(1) 実践の概要

「自然」では、地域の豊かな自然を生かした活動を行った。農園活動では、低学年はサツマイモ、中学年はそば、高学年は大豆を学校農園で栽培した。また、収穫物を使って焼き芋を作り、軽トラ市で販売したり、地域の方を講師として招き、そば打ち・豆腐作りを行った。また、地域の生業であった「養蚕」や「炭焼き」についても体験を通してその歴史や方法について学んでいる。

「伝統と文化」では、地域に伝わる「早稲谷鹿踊」の活動を中心に行った。毎週水曜日の業前活動では、縦割り班で練習を行い、上学年が下学年に教える活動を取り入れ、全校で実施した。また、総合的な学習の時間には、講師を招き、3～6年生が練習を行った。その他に5・6年生は伝統文化親子教室として年間10回にわたり、早稲谷鹿踊保存会の方からの指導を受けている。また、2月には保護者や地域の方を招いて生活・総合発表会を行った。さらに、今年度は、目黒さんま祭りに招待され、5・6年生が鹿踊りを披露した。また、本年度も学芸会には、6年生による塚沢神楽の披露を行った。

「人とのかかわり」では、小規模校の特性を生かして、行事や清掃、業間遊びの際に縦割り班活動を取り入れ、異学年交流を活発に行なった。また、敬老の日に合わせて、児童の作文や絵、習字の作品やお年寄りの方へのメッセージを冊子にまとめた「敬老帳」を作成し、学区に住む77歳以上の方に配布する活動を継続しており、本年度で47年目を迎えた。



敬老帳を作成している様子(5, 6年)



そば打ち体験の様子（3，4年）



農園活動（軽トラ市）の様子（1，2年）

（2）今年度、特に工夫・改善したこと

- ・ 指導計画の探究的な学習をさらに充実できるよう、学習内容の見直しや精選を図ったことで、限られた時数の中でも、体験活動と探究的な学習のつながりを意識した学習を行い、児童の主体的な学びにつなげることができた。
- ・ 地域人材を講師として活用する機会を多くもった。特に、事前の打ち合せでは、学習の流れやねらいを確認する時間を多く取り、かかわり方や役割について明確にするよう努めた。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（